

広資料第196号
令和4年9月16日
企画財政部企画政策課
市民情報提供資料

横田基地への戦闘機の飛来について

令和4年9月16日付広資料第194号及び同日付広資料第195号でお知らせしたこのことについて、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、別紙1及び別紙2のとおり文書で申し入れましたので、お知らせします。

横田基地への戦闘機の飛来及び訓練の実施について（要請）

令和4年9月15日に、北関東防衛局から、「複数の戦闘機が今週末（金曜日）、横田基地に飛来し、訓練を実施する予定。当該訓練により、常駐機より多くの騒音が見込まれる。運用上の安全を考慮し、飛行運用の詳細は公表しないが、我々の全ての航空運用は、日米両政府間の空域に関する合意ならびに規則に従って行う。」との米軍からの情報が、基地周辺自治体に提供されました。

本年5月に行われた「Beverly Morning 22-01」では、当連絡会から横田基地で戦闘機による訓練を実施しないように事前に要請していたにもかかわらず、三沢基地所属のF-16戦闘機が連日、早朝から夜間まで離着陸を繰り返し、地元自治体には、激しい騒音に対する強い苦情や、事故等の危険性への懸念など多くの声が寄せられ、住民生活に甚大な影響が生じました。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は、日頃から昼夜を分かたぬ航空機騒音に悩まされるとともに、事故への不安も抱えています。この上、横田基地本来の機能と異なる訓練が実施され、周辺住民の生活環境がさらに損なわれることを容認することはできません。

戦闘機による訓練が実施されることは、周辺住民の感情悪化を招くばかりでなく、ひいては、日米友好関係にも悪影響を及ぼしかねないと懸念しています。

貴職におかれましては、このような状況を十分認識され、昼夜を問わず、横田基地における戦闘機による訓練を実施しないよう、強く要請します。

令和4年9月16日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	杉浦裕之

幹事 瑞穂町長 杉浦裕之

横田基地への戦闘機の飛来及び訓練の実施について（要請）

令和4年9月15日に、北関東防衛局から、「複数の戦闘機が今週末（金曜日）、横田基地に飛来し、訓練を実施する予定。当該訓練により、常駐機より多くの騒音が見込まれる。運用上の安全を考慮し、飛行運用の詳細は公表しないが、我々の全ての航空運用は、日米両政府間の空域に関する合意ならびに規則に従って行う。」との米軍からの情報が、基地周辺自治体に提供されました。

本年5月に行われた「Beverly Morning 22-01」では、当連絡会から横田基地で戦闘機による訓練を実施しないように事前に要請していたにもかかわらず、三沢基地所属のF-16戦闘機が連日、早朝から夜間まで離着陸を繰り返し、地元自治体には、激しい騒音に対する強い苦情や、事故等の危険性への懸念など多くの声が寄せられ、住民生活に甚大な影響が生じました。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は、日頃から昼夜を分かたぬ航空機騒音に悩まされるとともに、事故への不安も抱えています。この上、横田基地本来の機能と異なる訓練が実施され、周辺住民の生活環境がさらに損なわれることを容認することはできません。

戦闘機による訓練が実施されることは、周辺住民の感情悪化を招くばかりでなく、ひいては、日米友好関係にも悪影響を及ぼしかねないと懸念しています。

貴職におかれましては、このような状況を十分認識され、昼夜を問わず、横田基地における戦闘機による訓練を実施しないよう、米軍に申し入れることを強く要請します。

令和4年9月16日

{ 北関東防衛局長 扇谷 治 殿
横田防衛事務所長 和田 善徳 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	清水	庄平
昭島市長	臼井	伸介
福生市長	加藤	育男
武蔵村山市長	山崎	泰大
羽村市長	橋本	弘山
瑞穂町長	杉浦	裕之

幹事 瑞穂町長 杉浦 裕之